

今冬のボーナス「支給される予定」は約66%

支給予定額は昨冬と同水準並み

- 冬のボーナスに関する調査 -

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学、以下「楽天リサーチ」）は、冬のボーナスに関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、12月1日から2日の2日間、楽天リサーチ登録モニター（約220万人）の中から全国の20歳から59歳の男女計1,000人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

【総括】

戦後最高値の「超円高」を更新してから初めてのボーナス支給の時期になった。今冬のボーナスの支給予定をたずねると、「支給される予定」は66.1%、「支給される予定はない」は21.3%、「支給されるかどうかは分からない」が12.6%という結果となり、支給される予定の人は支給されない人の3倍を超える結果となった。

見込み支給額については「40万円以上から50万円未満」がトップとなっており、昨年並みの水準を予測する人が多かった。一方で、見込み支給額への満足度は低く、「不満」「どちらかといえど不満」を合わせると61.4%という結果となった。欧州の債務問題など情勢が不透明なことも重なり、ボーナスにさほど期待せず全体的に不満と不安が漂う結果となった。

■今冬のボーナス「支給される予定」が66.1%。「支給される予定はない」の3倍強に

今冬のボーナスが「支給される予定」は66.1%で、「支給される予定はない」（21.3%）の3倍強となっている。「支給される予定はない」と答えた人に、冬のボーナスが支給されないことで縮小する出費についてたずねたところ、今冬も昨年同様に趣味や嗜（し） 好品に関する分野の節約が目立ち、「旅行・レジャー」（23.5%）、「飲食・グルメ」（22.5%）、「衣類品・装飾品の購入」（16.9%）が上位となった。

■見込み支給額は「40万円以上から50万円未満」がトップで昨年並み

「支給される予定」と答えた人に、見込み支給額を聞いた。トップが「40万円以上から50万円未満」（12.4%）で、以下、「30万円以上から40万円未満」（12.1%）、「20万円以上から30万円未満」（11.0%）、「10万円以上から20万円未満」（ともに11.0%）、「50万円以上から60万円未満」（9.4%）が続いた。

さらに、昨冬にボーナスが支給され今年も支給予定がある人に、昨年と比べた支給額について聞いたところ、「昨年と変わらない」が突出して多く、45.1%となった。

■見込み支給額への満足度、「不満」が6割超

見込み支給額への満足度をたずねたところ、「不満」「どちらかといえば不満」の回答を合計すると61.4%となった。「とても満足」「どちらかといえば満足」を合計すると38.5%となり不満層が満足層を大きく引き離れた。

■節約志向が顕著に目立つ。ボーナスの用途は昨年と同じ「預貯金」「生活費の補填」「旅行・レジャー」がトップ3

支給予定がある人のうち、ボーナスの利用用途をたずねたところ、「だいたい決まっている」(40.5%)、「まだ決まっていない」(30.7%)、「決まっている」(28.7%)だった。

「決まっている」「だいたい決まっている」と回答した人にボーナスの具体的な用途を選んでもらったところ、「預貯金」(67.7%)、「生活費の補填」(43.5%)、「旅行・レジャー」(40.0%)となり、昨年調査した昨冬のボーナスの用途のトップ3と同じ結果だった。

■先行き不安。過半数が、景気低迷や雇用不安がボーナスの使い途に「影響している」

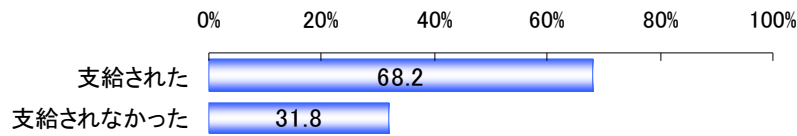
景気低迷や雇用不安がボーナスの使い途に影響しているかどうかを、支給予定者に聞いたところ、「影響している」「大きく影響している」と回答した人を合わせると過半数(55.5%)となった。欧州の債務問題や「超円高」による影響からか、先行きに不安を感じて冬のボーナスの金額に期待せず手堅く貯金する人が多いと分析する。今冬も節約傾向が強くなりそうだ。

■□ 調査結果 □■

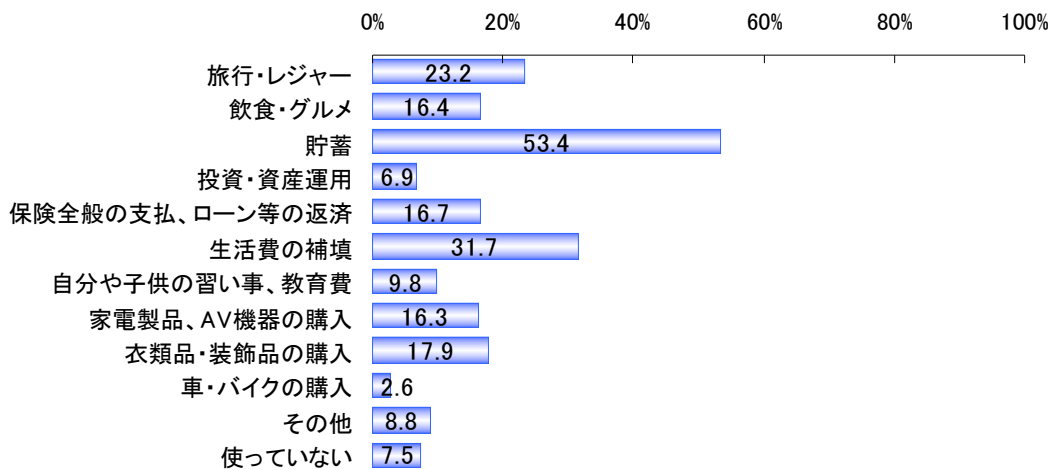
■昨冬のボーナスの用途は、「貯蓄」「生活費の補填」「旅行・レジャー」

昨冬のボーナスについてたずねたところ、昨年冬にボーナスが「支給された」人は68.2%で、「支給されなかった」のは31.8%だった。支給された人のボーナス利用用途(複数選択)のトップ3は、「貯蓄」(53.4%)、「生活費の補填」(31.7%)、「旅行・レジャー」(23.2%)となった。以下、「衣料品・装飾品の購入」(17.9%)、「飲食・グルメ」(16.4%)などとなっている。近年、ボーナスの利用用途が日常生活と密着する傾向があるが、昨冬のボーナスの使い途も、上位5回答中3回答(「貯蓄」「生活費の補填」「保険全般の支払、ローン等の返済」)が、「日常」に結びついた用途となっている。

◇昨冬のボーナス支給 (n=1,000) 単位：%



◇昨冬のボーナスの利用用途 (n=682) 複数選択 単位：%

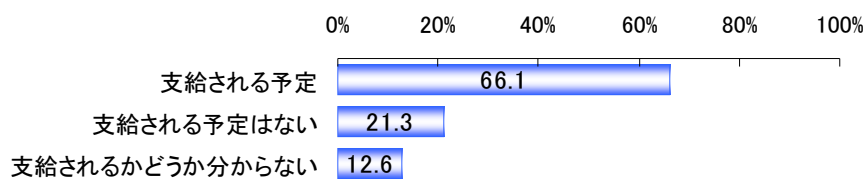


■今冬のボーナス、「支給される予定」が66.1%。「支給されるかどうか分からない」も12.6%と多数

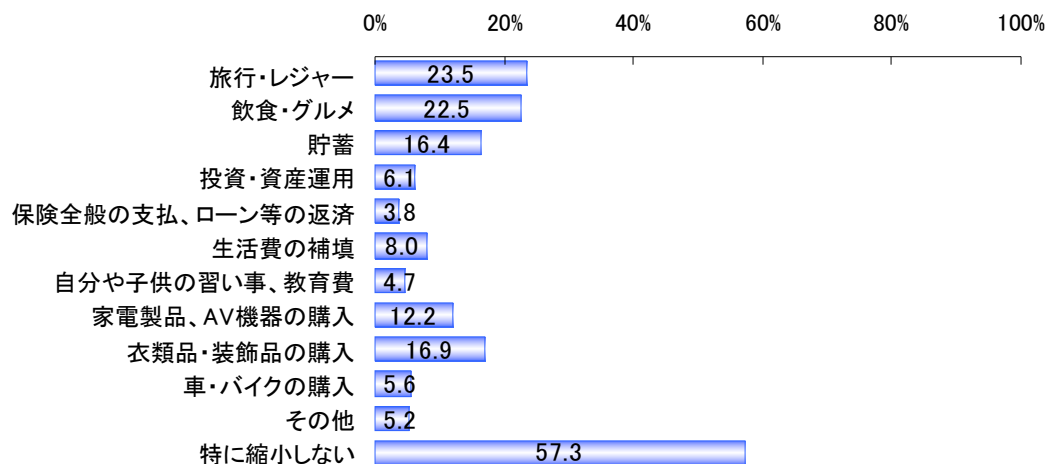
今冬のボーナスの支給予定はどうなっているのだろうか。「支給される予定」は66.1%で、「支給される予定はない」(21.3%)の3倍強となっている。现阶段では「支給されるかどうか分からない」という回答も12.6%あった。

「支給される予定はない」と答えた人に、冬のボーナスが支給されないことで縮小する出費についてたずねたところ、具体的な項目で最も多かった回答は「旅行・レジャー」(23.5%)、「飲食・グルメ」(22.5%)、「衣類品・装飾品の購入」(16.9%)がそれに続いた。一方、「特に縮小しない」という回答も6割近く(57.3%)に上っている。

◇今年のボーナスの支給予定 (n=1,000) 単位：%



◇冬のボーナスが支給されないことで縮小する出費 (n=213) 複数選択 単位：%

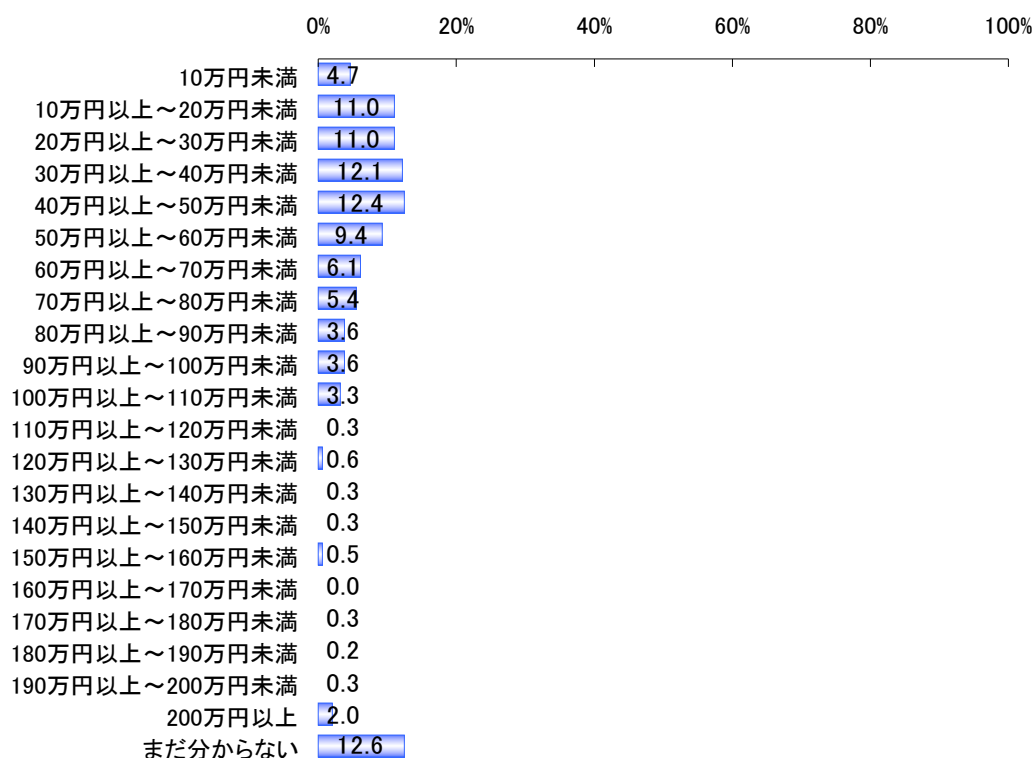


■今冬の見込み支給額は「40万円以上から50万円未満」がトップ。水準は昨年並み

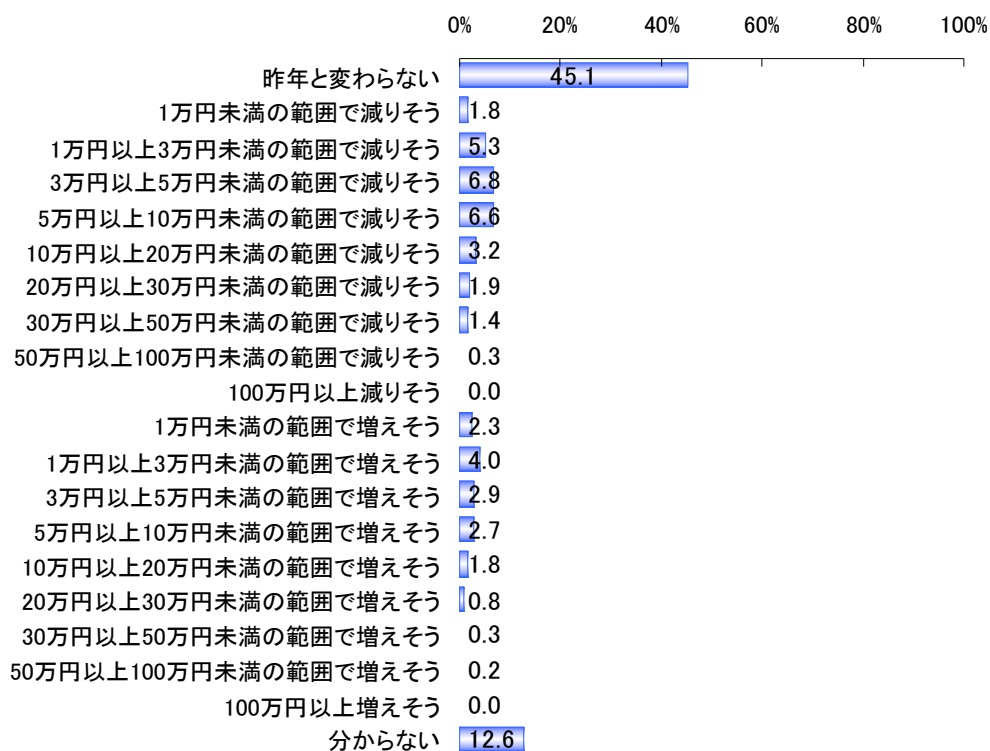
「支給される予定」と答えた人に、見込み支給額を聞いた。トップが「40万円以上から50万円未満」(12.4%)で、以下、「30万円以上から40万円未満」(12.1%)、「20万円以上から30万円未満」(10.9%)、「10万円以上から20万円未満」(ともに11.0%)、「50万円以上から60万円未満」(9.4%)などとなった。50万円未満が約半数(51.2%)、100万円以上が約1割(8.1%)となっている。

さらに、昨冬にボーナスが支給され今冬も支給予定がある人に、昨年と比べた支給額について聞いたところ、「昨年と変わらない」が突出して多く、45.1%となった。ほかに、「3万円以上5万円未満の範囲で減りそう」(6.8%)、「5万円以上10万円未満の範囲で減りそう」(6.6%)、「1万円以上3万円未満の範囲で減りそう」(5.3%)などの回答が比較的多かった。「減りそう」という回答の合計は27.3%で、「増えそう」(15.0%)の約1.8倍となっている。

◇今年の冬のボーナスの見込み支給額 (n = 661) 単位：%



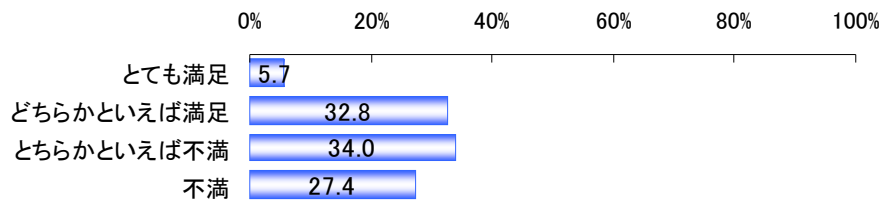
◇今年を支給予定額の増減 (昨年比) (n = 621) 単位：%



■見込み支給額、「不満」が6割超と「満足」層を大幅に引き離す

今冬にボーナスが支給される予定の人は、見込み支給額に満足しているのだろうか。満足度調査の結果は「どちらかといえば不満」(34.0%)が最も多く、「どちらかといえば満足」(32.8%)がそれに続いた。「とても満足」と「どちらかといえば満足」の合計は38.5%、「どちらかといえば不満」と「不満」の合計は61.4%で、不満層が満足層を大きく引き離した。

◇今年の見込み支給額の満足度 (n=661) 単位：%

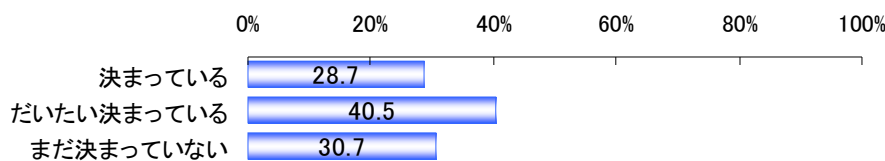


■今冬のボーナスの用途も、「預貯金」「生活費の補填」「旅行・レジャー」がトップ3

支給予定がある人のうち、調査時点でボーナスの利用用途が「決まっている」のは28.7%、「だいたい決まっている」のは40.5%、「まだ決まっていない」のは30.7%だった。

また、ボーナスの具体的な用途を上位3位まで選んでもらったところ、最も多く選ばれたのは「預貯金」(67.7%)、「生活費の補填」(43.5%)、「旅行・レジャー」(40.0%)がそれに続いた。この上位3回答は、昨冬のボーナスの用途のトップ3と同じ結果となった。利用用途の上位は、1位「保険全般の支払い、ローン等の返済」(61.2%)、2位「投資・資産運用」(46.5%)、3位「飲食・グルメ」(53.8%)だった。

◇今年冬のボーナスの使い途 (n=661) 単位：%



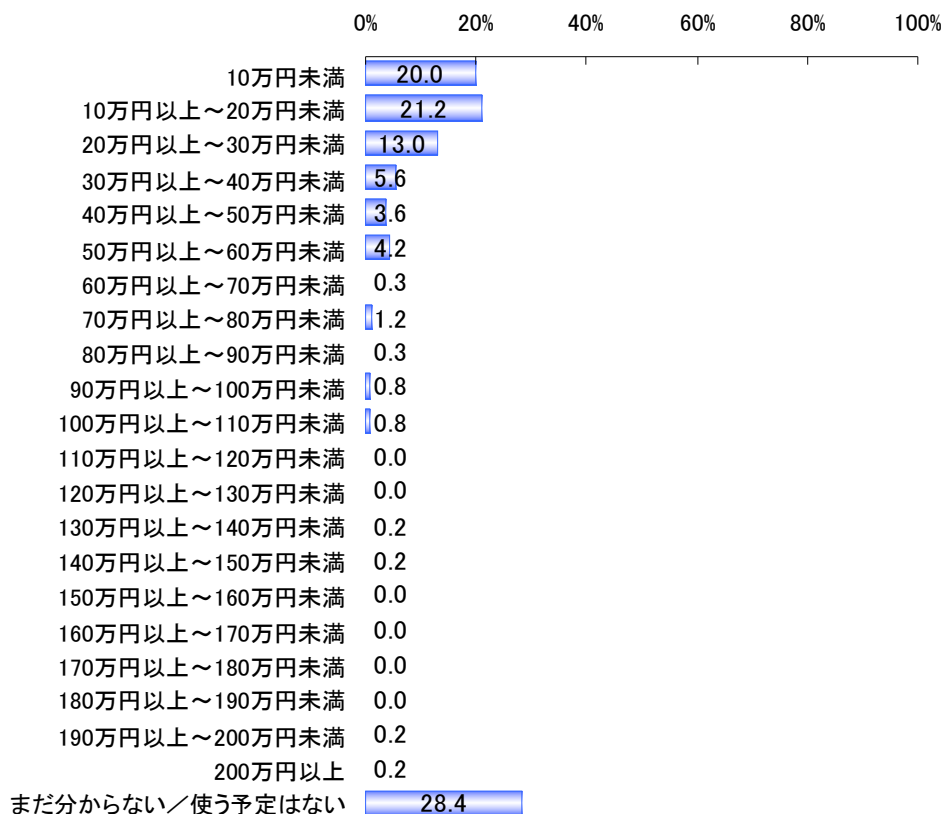
◇今年ボーナスを何に使うか (n=458) 上位3位まで 単位：%

	n	1位	2位	3位
1.旅行・レジャー	183 100.0	55 30.1	58 31.7	70 38.3
2.飲食・グルメ	130 100.0	9 6.9	51 39.2	70 53.8
3.預貯金	310 100.0	146 47.1	92 29.7	72 23.2
4.投資・資産運用	43 100.0	13 30.2	20 46.5	10 23.3
5.保険全般の支払、ローン等の返済	134 100.0	82 61.2	36 26.9	16 11.9
6.生活費の補填	199 100.0	64 32.2	80 40.2	55 27.6
7.自分や子供の習い事、教育費	85 100.0	25 29.4	27 31.8	33 38.8
8.家電製品、AV機器の購入	81 100.0	24 29.6	29 35.8	28 34.6
9.衣類品・装飾品の購入	92 100.0	15 16.3	37 40.2	40 43.5
10.車・バイクの購入	26 100.0	14 53.8	9 34.6	3 11.5
11.その他	91 100.0	11 12.1	19 20.9	61 67.0

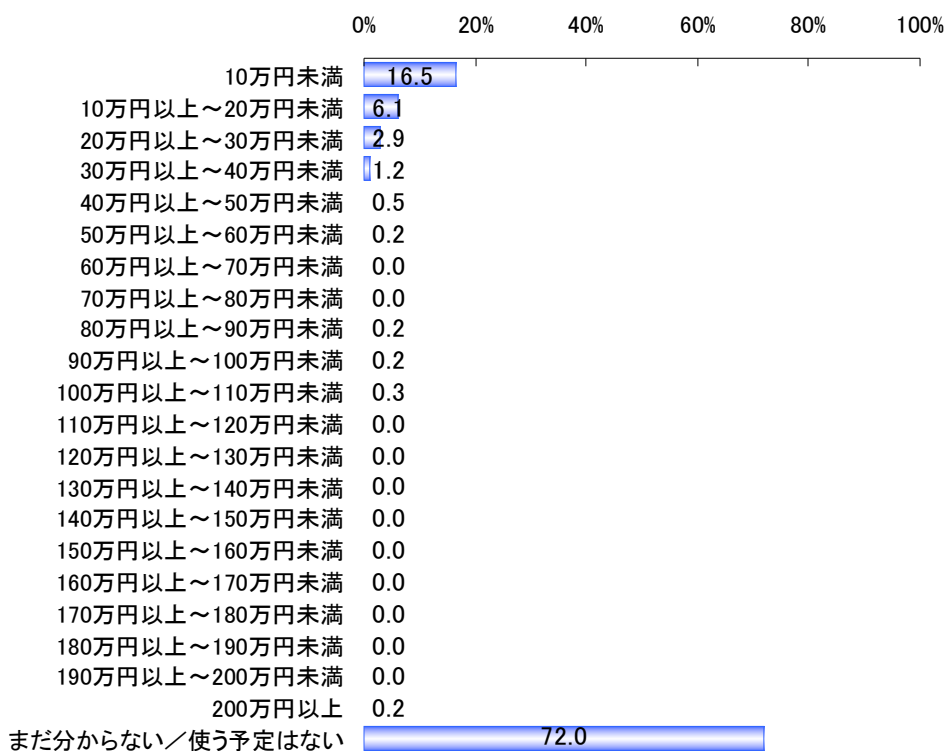
■貯金額は「10万円以上から20万円未満」、投資・資産運用額は「10万円未満」がトップ

今冬支給のボーナスのうち、貯金額は「10万円以上から20万円未満」(21.2%)、「10万円未満」(20.0%)、「20万円以上から30万円未満」(13.0%)がトップ3の回答となった。また投資・資産運用に使う額は、「10万円未満」が最多で16.5%。「まだ分からない/使う予定はない」が72.0%だったことから投資の支持率が低いことが分かる。

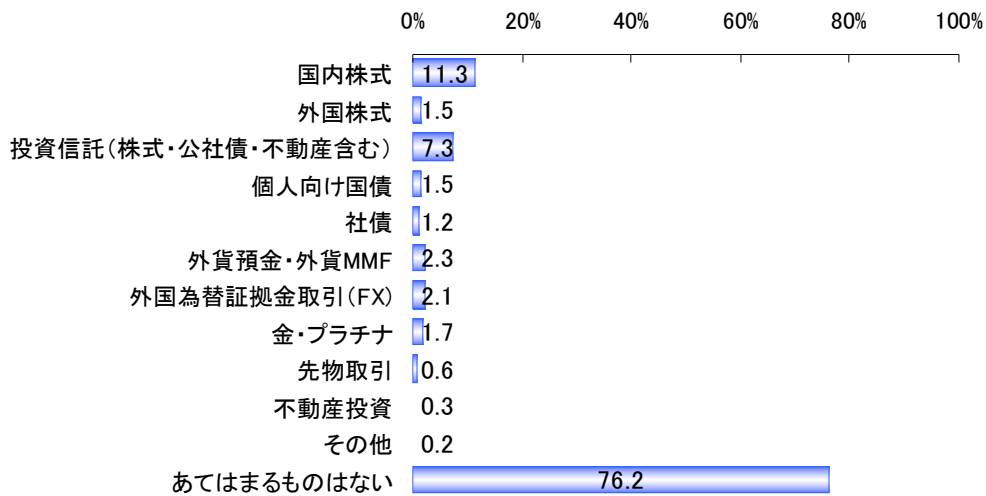
◇今年の冬のボーナスの貯金額 (n = 661) 単位：%



◇今年の冬のボーナスのうち投資・資産運用に使う額 (n = 661) 単位：%



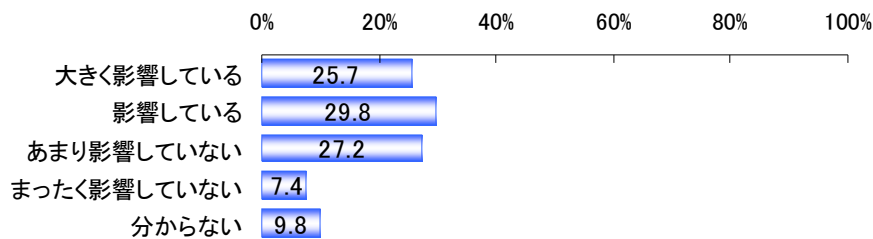
◇今年冬のボーナスで購入予定のある金融商品 (n = 661) 複数選択 単位：%



■過半数が、景気低迷や雇用不安がボーナスの使い途に「影響している」と回答

景気低迷や雇用不安がボーナスの使い途に影響しているかどうかを、今冬の支給予定者に聞いた。結果は、「影響している」(29.8%)と「あまり影響していない」(27.2%)が僅差で1、2位となり、「大きく影響している」(25.7%)が3位となった。「影響している」「大きく影響している」を合わせると55.5%となり、「あまり影響していない」「まったく影響していない」の合計34.6%を大きく上回った。

◇景気低迷や雇用不安がボーナスの使い途に影響しているか (n = 661) 単位：%



【調査概要】

調査エリア : 全国
 調査対象者 : 20歳から59歳の男女
 回収サンプル数 : 1,000サンプル (性年代均等割付 各セル100サンプル)
 調査期間 : 2011年12月1日から2日
 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

◆◆◆関連サイト◆◆◆

■**楽天マネーサービス** URL→<http://service.money.rakuten.co.jp/top/index.html>

楽天が提供する金融サービスをワンストップでご紹介。また、楽天カード、楽天証券、楽天銀行ほか、多数の金融機関の口座情報が楽天会員IDとパスワードだけで一覧表示できる「口座管理サービス」も提供中。

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報渉外室 広報課（担当：高田）
TEL：050-5817-1104 Email：pr@mail.rakuten.com